

TORANOMON HOSPITAL

NOVEMBER Vol.1
2018

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2丁目2番2号
TEL:03-3588-1111(代)

TAKE FREE

虎の門病院広報誌 号外vol.1

2019年5月7日 新病院オープン!



やさしさで、つながっていく
TORANOMON HOSPITAL

新しい虎の門病院はじまる!

新病院プロジェクト

病棟が変わる!

虎ノ門二丁目地区再開発計画

地上19階・地下3階の新フロア

新広報発足!



国家公務員共済組合連合会
虎の門病院
TORANOMON HOSPITAL

地上19階・地下3階の新フロア

国際水準の医療サービスと都内屈指の災害時治療・収容力を有する、次代の医療施設へ



エントランスイメージ



2階中央待合ホールイメージ



南広場イメージ



外来エリアイメージ



外来待合イメージ

新広報発足！

この度のリニューアルに際し、私たちは新たなコミュニケーションスローガンを設けました。「やさしさで、つながっていく」と綴られたこのコピーでは、虎の門病院、患者さん、そして地域医療従事者の3者が「やさしさ」の一語でつながっていく様子を、重なり合う3枚のリーフでデザイン。私たちの目指すあり方を表現しています。



青葉：虎の門病院 緑葉：患者さん 黄葉：地域医療従事者

【号外第2弾は2019年春・号外第3弾はオープン後刊行予定】



2019年5月7日 いよ新しい

TOPIC

01

新病院プロジェクト

病院移転のご案内

2019年5月、開院予定。さらなる医療の充実を目指します。

当院は隣地に現在建設中の新病院へ2019年5月に移転します。
現病院での診療は2019年4月30日迄となります。

旧病院との比較

	旧病院	新病院
病床数	868床	819床
延床面積	約60,000㎡	約86,000㎡
建築物の規模	本館：地上8階、地下2階 新館：地上13階、地下4階	地上19階、地下3階
建築物の高さ	約60m	約99m



南西側外観イメージ

TOPIC

02

病室が変わる！

病室設計に関わる梶さんにお話をお伺いしました。



ご予算とご希望に合わせて選べる、
快適さと療養を兼ね備えた4つの病室

ゆとりある空間が嬉しい4床室

一般的な大部屋となる4床室は、それまでの6床室から2床を減らすことで「患者さん同士に挟まれる」ことを防ぎ、療養環境を改善しました。また、間仕切り家具を設置した、まるで個室のような大部屋もご用意。もちろん、いずれも個室よりお手軽な価格でご利用頂けます。

プライバシーに配慮した個室

ご家族が長期滞在される際や、たくさんお見舞いの方々が来られても安心の個室。お部屋内にトイレやシャワーを完備しているので、自分のペースでゆっくりとお過ごし頂けます。また、病院内のWi-Fiをご利用可能ですので、インターネットやメールを自由にお楽しみ頂けます。

上質さと安全性を両立した特別個室

従来の病室にあった雰囲気や環境を一新し、上質で洗練された空間を実現した特別個室。快適な環境で、療養に専念頂けます。また、特別個室は最上階に専用フロアを設け、一般の方の入室を制限。お部屋にもカードキーがあるので、セキュリティ面でもご安心頂けます。



特別個室パース図(イメージ)



特別病棟ラウンジパース図(イメージ)



1床室パース図(イメージ)

最上階19階フロアからの眺望



虎ノ門病院がはじまります

TOPIC

03

虎ノ門地区都市再生計画

培われた歴史を糧に、高水準の医療施設、ホテル、住居を備えた国際的なビジネス街へ

虎ノ門地区の歴史

江戸		現在の虎ノ門の一带は、ちょうど麻布の台地と愛宕山に挟まれた低地であることから、西久保と呼ばれていた。西久保地区の大部分は武家地・寺社地であった
明治	1870 1874	虎ノ門内側の幕府の御用屋敷があった数地が今入町(後の芝虎ノ門町)となる 虎ノ門が撤去される(現在では門跡の一部が文部科学省協に残っているのみ)
大正	1923	虎ノ門交差点付近において虎ノ門事件(皇太子・摂政宮裕仁親王の自動車狙撃事件)が発生する
昭和	1938 1947 1949 1977	地下鉄虎ノ門駅開業 芝区が赤坂区・麻布区と合併して新たに港区が成立 芝今入町が芝虎ノ門に改称する(現在の虎ノ門一丁目1番地)。町名に「虎ノ門」が採用されたのはこのときが初めてである 住居表示実施。西久保地区の大部分に近隣の芝神谷町・芝虎ノ門・赤坂葵町などをあわせて現在の虎ノ門が成立する

虎ノ門の由来

江戸城の西に位置する虎ノ門。「青龍・白虎・朱雀・玄武」からなる四神思想に由来する、西の獣神「白虎」にちなんだ名だと言われています。諸説ありますが、地下鉄入口付近につくられた虎の像からも、本説が有力視されています。

再開発後の虎の門病院とその周辺

国際競争力を強化する取り組み

オフィス機能だけでなく、国際水準の医療施設、ホテル、住居を有する国際ビジネス街へ。外国人向けの業務・生活支援機能を備える。

大規模病院の機能更新と良好な都市基盤整備

虎の門病院では、段階的に更新を進めることで、機能を維持したまま施設更新を実現。また、交通網も再強化し、都市基盤の整備を推進する。

防災対応力の強化と都市環境の向上

都内屈指の災害時治療・収容拠点を導入。自立性の高いエネルギーシステムの採用により、医療・業務機能の継続性を向上させる。

東京メトロ日比谷線虎ノ門新駅(仮称)の設置

虎ノ門エリアの混雑緩和・駅機能の負荷分散を目的に設置される、虎ノ門新駅(仮称)。世界有数のビジネス街、その玄関口となる。

医療施設

虎の門病院では、段階的に新病院竣工を推進。地上19階建ての新棟では、病床個室を大幅に増やすほか、災害時の治療・収容拠点としての機能も果たす。



宿泊機能

「The Okura Tokyo」の開業を中心に、充実の宿泊機能を完備。国際水準の空間を提供する。

ビジネス発信機能

新しいビジネスアイデアや技術、産業などの発信に向けた、多様なビジネスイベントの開催が可能な各種拠点を整備。

ビジネス支援機能

外国人ビジネスパーソンやその家族ならびに関係者への業務支援および生活支援機能を備えた、多様な設備を導入。

ビジネス交流機能

フォーラム、ギャラリー、レストランなど、国内外のビジネスパーソンが交流する多機能複合型施設を整備。

居住機能

愛宕地区では、地上56階の超高層マンションが建設予定。分譲・賃貸住宅はもちろん、国際的な居住機能や短・中期滞在型のサービスアパートメントを備える。

